

横須賀軍港巡り報告

報告者 橋 亨

コロナ禍から4年ぶりに、参加できる事業を企画し、「ヴェルニー公園の散策&横須賀軍港巡り」を令和5年11月4日(土)に行いました。快晴の秋晴れの中、三連休中日という事もあり10名の参加者ではありましたが、それぞれ横須賀駅とヴェルニー公園内のあずまやの二か所に集合し、合流後、まずはヴェルニー公園内庭園を綺麗に咲いたバラの花を見ながら散策しました。



途中公園内にある近代遺産ミュージアム「よこすかティボディエ邸」を見学、ここは横須賀製鉄所の副首長のティボディエ氏が住んでいた官舎を復元した資料館で、日本近代化の礎となった明治時代の最古級の木造洋風建築の西洋館の様式となっており、当時横浜や神戸などに建てられた西洋館のモデルになったと言われています。



「よこすかティボディエ邸」

館内の資料館には、当時の横須賀製鉄所の歩みが展示されていました。この横須賀製鉄所をつくりあげたのが、フランス人技師ヴェルニー。フランス庭園様式を取り入れて再整備を行い、功績を称えてその名を冠した公園が「ヴェルニー公園」です。



この公園内にはもう一つ「ヴェルニー記念館」があり、私達はティボディエ邸見学後、「ヴェルニー記念館」

「ヴェルニー記念館」へ向かいました。



「ヴェルニー記念館」



ここは、フランス人技師ヴェルニーの功績と、横須賀製鉄所の意義を伝えるために建てられ、館内には、国指定重要文化財にも認定されている2台のスチームハンマーが展示されていました。



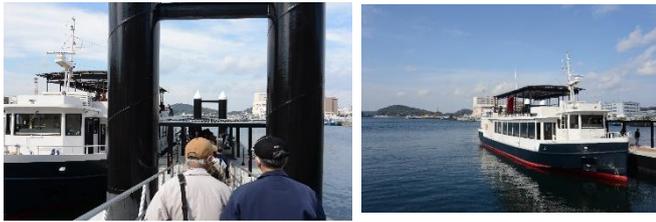
「スチームハンマー」

「ヴェルニー記念館」を見学した後、私達は乗船までまだ少し時間があつたので、公園内で放友会の長谷川名誉会長による海上自衛隊に関するクイズ遊びを行い、日本国内には何隻の艦艇があるか？艦艇の種類にはどんなものがあるか？海上自衛隊の基地はどこにあるか？等のQ&Aで、皆さん知らない事ばかり、初めて知る事が非常に多く、たいへん参考になりました。



ヴェルニー公園散策後、私達は12時便に乗船するために、「汐入ターミナル」乗船口に向かいました。連休中ということもあり、すでに長蛇の列、大変混雑していました。船はほぼ満席、少し後方に並んだため、一階船室に乗船しました。

少し解説を加えると、横須賀港は今から約 160 年前に米国ペリー艦隊が上陸して以来、海軍港として発展してきました。アメリカ海軍施設と海上自衛隊の司令部が置かれた港として知られています。この



「横須賀軍港めぐり」は、アメリカ海軍や海上自衛隊の艦船を同時に間近で見る事が出来る、日本唯一のクルージングツアーです。ここで見られる艦船は実に多彩で、海上自衛隊の潜水艦や護衛艦、米海軍のイージス艦、タイミングによっては、空母、砕氷船（南極観測船）などが見られると言われてい



クルーズ船が出港すると、いきなり横に潜水艦が・・・一隊員が潜水艦の上から手を振ってくれ、館内から拍手が起きました。



明るくユーモアたっぷりの船内ガイドさん、ガイドさんの説明によると、今回、残念ながら、空母「ロナルド・レーガン」は9月29日に出港していて、見る事が出来ませんが、イージス艦、護衛艦、また潜水艦は4隻見る事が出来るとの解説でした。

暫くすると、次から次へと色々な艦船が見えてきました。間近に見る艦船はかなりの迫力があります。



「イージス艦」



イージス艦は高性能レーダーを備えているのですが、外見からはレーダーらしきものは見当たらず、ガイドさんによると、レーダーは船体に貼られた六角形の窓に隠されているのだと説明がありました。



潜水艦が3隻並んでいるところが見られる事は非常に珍しいとの事でした。約45分間のクルーズも終わりがけた頃、オレンジの船体が現れました。南極観測船「しらせ」です。メンテナンスと十分な食料補給を終え、再出発を待っていました。



あっという間の45分間、快晴の中青い海の上のクルーズはとても楽しいものでした。4年振りの放友会の外でのイベント、いつもは企画されたイベントに参加するだけの私でしたが、今回担当者となり、コース選びや乗船予約等、結構忙しく走り回りましたが、参加された皆さんがとても喜んで下さった事が救いです。また、このような企画がありましたら、放友会の皆さん、是非ご参加下さい。一緒に楽しく過ごしましょう。

解散後、有志で汐留駅近くで、楽しく放談会？で盛り上がった事は言うまでもありません。



「参加者の皆さん記念撮影」